

令和5年度 住之江区区政会議

第2回 備える部会 会議録

1 開催日時 令和5年10月5日（木）19時00分から20時00分まで

2 開催場所 住之江区役所2階 すみのえ舞昆ホール

3 出席者

〔区政会議委員〕

五十崎 晴久 委員、岡田 晋吾 委員、清水 ちどり 委員、

中川 隆夫 委員、濱島 孝夫 委員、本城 毅士 委員、松岡 孝 委員

（出席7人／定数8人）

〔アドバイザー〕

沼田 崇 住之江警察署生活安全課警備課警部補

畠中 章智 住之江警察署生活安全課防犯係警部補

谷内 成次 住之江消防署地域担当司令

〔住之江区役所〕

吉田 政幸 副区長

吉岡 敏秀 ICT・企画担当課長

岩永 明子 防災安全担当課長

○岩永防災安全担当課長

皆さんこんばんは。それでは令和5年度住之江区育成会議第2回備える部会を開催いたします。事務局の住之江区役所防災安全担当課長の岩永と申します。よろしくお願いいたします。

本年9月30日で、前期の区政会議委員の2年の任期が満了しましたので、本日は10月1日より新たに区政会議委員になられた方による初めての区政会議となっております。皆様におかれましてはこれから2年間にわたりまして区政会議委員を務めていただくこととなります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

区政会議は、愛しむ部会、育む部会、備える部会の3つの部会で構成されており、委員定数もそれぞれ8名となっております。この備える部会でも委員8名のうち、今回新たに4名の方が区政会議委員になられたところでございます。

早速ではございますが、本日お集まりの委員の皆様にご自己紹介をお願いいたします。

○五十崎委員

はい。初めましての方もひょっとしたら。さざんか平林協議会の五十崎と申します。よろしくお願いいたします。

○岡田委員

前期もこの備える部会で参加させていただきました。また今年もやることになりました南港緑の岡田と申します。よろしくお願いいたします。

○清水委員

前期は育む部会でお世話になりました。今回初めて備える部会ということで何も分かりませんが、よろしくお願いいたしますと思います。敷津浦連合から参りました清水と申します。お願いします。

○中川委員

さざんか海の町協議会の中川と申します。今回初めてやりますので何もかも分か

りません。一応資料は読んできましたけど、よろしくお願ひします。

○濱島委員

花の町の濱島です。よろしくお願ひします。

○本城委員

皆さん、こんばんは。安立連合から参りました本城です。初めて部会に参加させていただきますので、よろしくお願ひします。

○松岡委員

こんばんは。加賀屋東の松岡です。初めてです。よろしくお願ひします。

○岩永防災安全担当課長

ありがとうございます。

また本日はオブザーバーとして住之江警察署と住之江消防署の方にもお忙しい中ご参加いただいておりますので、ご紹介いたします。

住之江警察署生活安全課防犯係の畠中警部補です。

○畠中警部補

よろしくお願ひします。畠中です。

○岩永防災安全担当課長

住之江警察署警備課警備係の沼田警部補です。

○沼田警部補

沼田と申します。よろしくお願ひします。

○岩永防災安全担当課長

住之江消防署地域担当の谷内消防司令です。

○谷内消防指令

いつもお世話になってます。谷内です。よろしくお願ひします。

○岩永防災安全担当課長

ありがとうございます。

次に区役所職員のほうの紹介は、自己紹介でお願いします。

○吉田副区長

皆さん、こんばんは。副区長の吉田でございます。

2年間の任期ということで様々なご意見を聞かせてもらえたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○吉岡 I C T ・ 企画担当課長

こんばんは。住之江区役所 I C T ・ 企画担当課長吉岡と申します。よろしくお願いいたします。区政会議の全般的なところとか運営方針の担当をしております。引き続き、何とぞよろしくお願いいたします。

○森係長

住之江区役所協働まちづくり課の森といいます。よろしくお願いいたします。

防災・防犯を担当してます。この区政会議の開催案内とまた今回メールでも送らせてもらってますけども担当しますので、よろしくお願いいたします。

○岡田係員

同じく協働まちづくり課防災担当しております岡田と申します。

事務として担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

○岩永防災安全担当課長

防災安全担当課長の岩永です。よろしくお願いいたします。

それでは会議の成立について、ご報告いたします。

本会議は委員の2分の1の出席が必要で、部会員は8名ですので、4名以上の出席で開催が認められます。本日は7名の出席をいただいておりますので、本会は有効に成立していることを報告させていただきます。

本日の会議ですが、令和5年度、住之江区運営方針の進捗状況をご報告し、その取組が抱えている課題と改善策について説明のほうをさせていただきます。その上で各取組の改善策、今後の方向性についてのご意見をいただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

本日の会議の内容は、11月17日に予定しております区政会議の全体会で、部長の方からご報告をいただき、情報共有を図ってまいりたいと考えております。

会議時間は、20時、午後8時までの1時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

また、本会議は公開とさせていただき議事録につきましても、後日公表させていただきます。公表する際は、発言者と発言内容についても公開されますのでご承諾いただきますようお願いいたします。また広報や記録のために写真を撮影いたします。合わせてご了承ください。よろしくお願いいたします。

それでは本日の資料の確認をお願いいたします。

まず一番上に備える部会のレジュメを置かせていただいております、次第ですね。その次に部会の委員名簿。その次に配席図。「区政会議について」という資料。「将来ビジョンの概要版」。「住之江区運営方針」。ホチキスでとめてますちょっと分厚めの「令和5年度住之江区運営方針の進捗状況と今後の方向性について」という資料をつけさせていただいております。あとクリップでとめたもので参考資料ということでつけさせていただいております避難カードの携帯版、住之江区防災セミナーのチラシ。大阪市防災アプリのチラシ。広報誌の「さざんか」の6月号と9月号をつけさせていただいております。不足のほうございませんでしょうか。大丈夫ですか。

それでは、早速ですけれど1つ目の議題「備える部会部会長の選任」に入ります。

区政会議の委員改選後、初めての備える部会になりますので、会議の運営に当たりまして部会長を選出する必要があるがございます。立候補される方やどなたか部会長に推薦したい方がおられましたら挙手のほうをお願いいたします。

濱島委員、お願いします。

○濱島委員

部会長推薦は、緑の岡田さんをお願いしたいと思いますけど、よろしく願いします。

○岩永防災安全担当課長

岡田委員、お引き受けいただけますでしょうか。

○岡田委員

分かりました。

○岩永防災安全担当課長

それでは皆さんの拍手をもって岡田委員に部会長をお願いしたいと思います。

(拍手)

○岩永防災安全担当課長

ありがとうございます。

それでは同意いただきましたので、岡田委員に部会長をお願いしたいと思います。岡田委員、こちらのほうにお席を移っていただいて、一言ご挨拶のほうをお願いいたします。

○岡田部会長

初めまして、ではない方もいらっしゃいますけども、私は前期同じくこの備える部会で2年間。始めた頃はですね、なかなか分からなくて、おどおどしてようやく2年目ぐらいになったときに分かりかけた。今回はまたもう2年過ぎましたんで少しはいろんなことが分かってくるんじゃないかなと思ってますけど、なかなか難しい問題とかなので、うまいことしゃべれないかも分かりませんが、2年間よろしく願いいたします。

○岩永防災安全担当課長

ありがとうございました。

それではここから議事進行を部会長にお任せしたいと思います。よろしく願い

します。

○岡田部会長

それでは、部会の議事を進めさせていただきます。

本日は、先ほども少し説明がございました。令和5年度、そこにも書いてますけど住之江区運営方針の進捗状況と今後の方向性について議論していただくということでございます。

早速ではございますが、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○吉岡 I C T ・ 企画担当課長

こんばんは。改めまして、I C T ・ 企画担当課長の吉岡でございます。よろしくお願いいたします。

先ほどありましたように、10月1日からの任期中、皆様この任期中初めての区政会議ということでございますので、まず改めまして将来ビジョンと区運営方針につきまして、ご説明を申し上げたいというふうに思います。

それでは「住之江区の将来ビジョンについて」ご説明いたします。こちらをご覧ください。これお手元にお渡ししているのは概要版ということになります。

将来ビジョンとは、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての目指すべき将来。将来像の実現に向けた政策展開の方向性等を取りまとめ、区民の方々に明らかにするものでございます。その将来像は、おおむね5年から10年の期間で実現しようとする区の姿、状態、将来像を表したものでございます。住之江区においても作成しておりまして、これ2021年4月に更新をしております。

中身でございます。1ページ目、これは本編の目次となっております。これ先ほど申し上げた概要版でございますので、本編目次ですけれども、本編につきましてはこのページにございます二次元コードからご覧いただくことができます。本日は時間の関係もございますので、別途ご覧いただければと思います。

右側のページには、将来ビジョンの策定に当たりまして区長の挨拶を記載しております。その中でこの住之江区将来ビジョンを区民の皆様と共有し、これまで以上に「ありがとうございますまち、住之江区」を実現してまいりましょうと記載されております。

次のページでございます。将来像を実現する柱、3つの柱としまして、「愛しむ」「育む」「備える」の各分野に指針を定めることとしておりまして、この柱が区政会議の部会の構成となっております。

まず上からですが、「愛しむ」では「すべての人が自分らしく暮らせるまちづくり」としまして、「地域の活力と魅力の向上」、「支え見守りあう地域づくり」を大きな2つの項目といたしまして、それぞれ地域活動が将来にわたって自主的に、より活発なものとして発展し、住民が愛着、生きがいをもって暮らせるよう環境づくりを進める「地域活動の一層の活性化」。住之江区の魅力をICTの活用も図りながら情報発信することなどにより地域への誇りと愛着の醸成の機運を高めていくための環境づくりや仕組みづくりを進める「地域への誇りと愛着の醸成」と、行政の施策を着実に推進するとともに多様な専門機関のネットワークの充実を図りながら、区民の皆さんに寄り添い、誰もが安心して自分らしい生涯を送れるまちづくりを進める「寄り添い支える仕組みの充実」。お互いがお互い様の輪が広がって誰かに見守ってもらっているという安心感が広がっていく地域づくりを進める「安心を提供する身近なネットワークの強化」を掲げております。

その下、左側でございます「育む」の分野でございますが、「子供たちが輝くまちづくり」としまして、「子供たちが笑顔で育つ環境の実現」、「生き抜く力の育成」を大きな2つの項目としまして、それぞれ課題を抱える家庭や子供に必要な支援をタイムリーかつ、きめ細かく届ける体制を整備・充実するとともに、妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の全てのステージに応じた切れ目のないサポートを行う「子育てのステージに応じた支援の提供」、保護者が子供の成長に喜びを感じながら

安心して子育てができるよう、悩みも喜びも共感し合える場や、子育てに関する有益な情報が確実、簡単に入手できる環境の整備を進める「みんなで子育てを楽しめる環境づくり」と、誰もが安心して学習できる環境の充実に取り組む「学ぶ力の育成」、子供たちの未来がより充実したものとなるよう将来を思い描きながら、わくわくしてチャレンジする気持ちを持ち、それをやり抜く力が身につくよう取り組む「未来を切り拓く力の育成」を掲げております。

右側でございます「備える」の分野でございますが、こちら「安全・安心なまちづくり」としまして、「災害に負けないまちづくり」、「犯罪のない安心して暮らせる環境の実現」を大きな2つの項目としまして、それぞれこれまで充実を図ってきました「共助」「公助」の取り組みに加えまして、一人一人が知識を深め、十分に備える「自助力」の向上。隣近所で助け合える「近助力」の向上も図り、災害により強い地域をつくっていく「自助、近助、共助の一層の促進」。津波避難ビル等の避難施設の拡充や優しい日本語による情報提供など、ハード、ソフトの両面からの環境整備に取り組む「災害にしっかりと対応できる環境整備」と、犯罪の発生状況や防犯の知識に関する区民の皆さんの理解を深めていきながら犯罪に遭わないよう一層の意識啓発を行う「犯罪に遭わないための意識の醸成」。警察などの関連部署や地域での活動等の連携を大切にしながらみんなで力を合わせ犯罪のない、安全・安心なまちを目指す「犯罪を未然に防ぐまちの環境整備」を挙げております。

これら3つの柱の推進に向け、下に記載しております施策推進のためにとしまして「ICTを活用した地域力の強化」、「官民連携の一層の強化」、「より身近な区行政の実現」を掲げております。

以上が「住之江区将来ビジョン」の説明となります。

このように「住之江区将来ビジョン」で示されました施策展開の方向性に沿って、年度ごとの施策・事業の取組を明らかにする単年度ごとのアクションプランとなるものが「運営方針」でございます。運営方針、こちらですね。

住之江区におきましても「住之江区運営方針」といたしまして毎年策定しております。「令和5年度住之江区運営方針」をご覧ください。

運営方針におきましては、1ページ目に「目標」「使命」「令和5年度所属運営の基本的な考え方」を記載しております。次ページ以降に「重点的に取り組む経営課題」としまして、将来ビジョンの3つの柱に対応した経営課題を記載し、「育む」に対応した経営課題として「子供たちが輝くまちづくり」を記載し、「愛しむ」に対応した経営課題といたしまして「すべての人が自分らしく暮らせるまちづくり」。「備える」に対応した経営課題といたしまして「安全・安心なまちづくり」を記載し、それぞれの経営課題に対して区政会議各部会においてご意見をいただくこととしております。また、それぞれの経営課題におきまして、課題認識、主な戦略、アウトカム指標を設定しており、本日の区政会議資料としても取りまとめをしております。

次に、本部会と運営方針の関わりにつきまして簡単にご説明をさせていただきます。「備える部会」におきましては、運営方針における経営課題3「安全・安心なまちづくり」を主に取り扱っていただくこととなります。この「安全・安心なまちづくり」には、先ほど将来ビジョンの説明で申し上げましたように「災害に負けないまちづくり」と「犯罪のない安心して暮らせる環境の整備」の大きな2つの項目がございます。それらの具体的取組の進捗状況と今後の方向性についてご説明を申し上げます。特に今回の第2回区政会議というタイミングでは年度のほぼ中間地点ということでございますので、当年度の運営方針の実行に関してのチェックとしての中間振り返りを行うポイントとなっておりますので、皆様方からの忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。

私からは以上でございます。

○岩永防災安全担当課長

続いて、安全・安心のまちづくり経営課題3の詳しいご説明を私のほうからさせていただきます。資料は、備える部会「令和5年度住之江区運営方針進捗状況と今後

の方向性について」の2ページをご覧ください。

備える部会では、今説明がありましたように「安全・安心なまちづくり」を議題にしております。防災の取組、防犯の取組についてご説明をさせていただいて、ご意見をいただければと思っております。

3-1の「災害に負けないまちづくり」こちらが防災の取組です。自助、近助、共助、公助による防災力の高いまちを目指して特に次の2つのことに取り組んでいます。

1つ目が防災力の向上に向けた人材育成。広く区民の皆様に向けては、ホームページや広報紙、防災の出前講座を実施するなどして住之江区の災害想定や備えの必要性、避難方法などをお知らせしています。

○岡田部会長

2ページじゃなくて表紙の裏ですね。

○岩永防災安全担当課長

すみません、ページが打たれてないんですね。概要の部分です。はい、すみません。地域に向けましては、避難所の運営や避難の誘導など地域ぐるみで取り組む防災活動を担っていただける人材の育成支援としまして、住之江消防署の皆さんとも協力をして地域の防災訓練への支援。地域防災リーダーの登録・育成。また、若い層への人材育成としまして、中学生に向けた防災授業。小学校などへ出前授業を行うということを実施しております。また防災の知識を分かりやすく伝えるために、「マイタイムライン」や「避難カード」といったツールを作成しておりまして、防災の人材育成に役立っているところです。

課題としましては、そういう啓発を行ってるんですけども、より効果的な啓発方法を検討する必要があると考えています。

防災の取組の2つ目ですが「減災のための環境整備」としまして、災害に備えて協力いただける防災パートナーや、水害時に避難先として避難所を受け入れてくれる

津波避難ビルを募集しておりまして、増やしていくという取組をしています。また、災害時避難場所の表示板等を整備しまして避難場所をより分かりやすくする取組を行っています。

こちらのほうの課題としましては津波避難ビルや防災パートナーを拡充していきたいと思っておりますので、そこを充実させていく必要があると考えています。

次に「犯罪のない、安心して暮らせる環境の整備」、こちらは防犯の取組です。

1つ目の「防犯意識の向上に向けた啓発」としまして、オレオレ詐欺に始まる特殊詐欺の被害が増えています。クレジットカードと暗証番号を聞き出す方法も横行していますので、手口を紹介して被害を防止するキャンペーンをこちらは住之江警察さんと協力して実施をしたり、防犯の出前講座を行っています。

2つ目が「街頭犯罪抑止のための環境整備」としまして、青色防犯パトロールの巡回コースを効果的にするために、警察が危険を知らせるために発信しておられる「安まちメール」の情報を基に巡回コースを設定しています。また自転車の前かごの荷物を盗むひったくりを防止するために、ひったくり防止カバー取付キャンペーンを実施したり、防犯カメラの適正な運用を実施しています。

こちらの両方につきまして、やはりより効果的な啓発の方法、区民の皆さんに知っていただく方法を充実させていく必要があると考えています。

資料のほうをめぐっていただきまして、4ページをご覧ください。4ページの部分の一番下に黄色で「クローズアップ、取組の解説」というのを、書かせていただいています。ページ一番下の欄にこういった形で少しその取組をイメージしやすくするために事業の説明を入れております。それぞれの取組のところの一番下にクローズアップという形で紹介をしておりますので、ご覧いただければと思います。

意見交換をしていただくに当たってなんですけれども、自然災害が増加して、また地球温暖化も進んでいってる状態にあります。南海トラフ巨大地震や大津波の危険も予測されております。防災は本当に備えが重要で災害の被害想定を把握して、平時

から住居の手入れや家具の固定、避難先の相談とかいろいろ準備を行っておく必要があると考えています。また助かるためには自助、近助、共助、公助のいずれも重要だと考えております。特に大災害のときには、9割近くの人を「近所の人助けた」と言われておりますので、ご近所付き合いも備えの一つなのかなと思っております。防犯の取組でも、みんなで街頭犯罪や特殊詐欺の手口を知っておいて、声をかけ合うことも大切だというふうに考えています。今日は、ご紹介させていただきましたこの4つの取組へのご意見やご質問をいただきたいのと、あと委員の皆様ご自身が取り組まれている防災・防犯の取組。もしなさってたら地域で取り組まれている防災・防犯の取組をお聞かせいただければと思っております。

説明のほう以上になります。よろしく願いいたします。

○岡田部会長

ありがとうございました。

それでは、皆さんにご意見いただくわけですけど、本日は初めてでございますので自己紹介も、先ほどお名前だけしていただいたんですけど、先ほどちょっと部会長のおっしゃったような地元でそういう防災に関わってるような、こんなことしてますわとかいうのがあればですね、自己紹介とともにしていただければと思いますので五十崎さんのほうからお願いします。

○五十崎委員

私、平林協議会で災害救助部長をしております。地域では、一応今年6回ほど啓発活動として防災情報のチラシという形で作らせてもらってます。それとあと去年から年4回に分けて地区防災計画、今後区役所さんともう一回、係長さんと一緒になって去年から年4回地区防災計画の作成ということで今やっております。

それからあと、私個人としては中川さんと同じで、一緒に防災士の資格を同時に取ったということで、具体的には日本防災士会という大阪府支部に所属しております。そういった方面でもちょっと啓発活動を行っております。

やはり一番私が今思っているのは、一番いうのはコロナで当たり前のようにマスクをするようになったんですけれども、これが当たり前のように皆さんのご家庭で備蓄や家具の固定とかしてもらえたらこれが一番理想的で一番いいんじゃないかなど。でも、そこにはやっぱり人間の心理いうのがありますして、やっぱり自分ごと、我がこと意識を蓄えるということがまず全体になってくるんじゃないか。その辺をどう持っていただくというのがちょっと課題になってくると思っておりますので、その辺またいろいろとお話しできたらいいと思います。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございました。

順番ということで、清水委員、お願いします。

○清水委員

こんばんは。私は地域では、青少年指導員をさせていただいております毎月1回の巡視に参加させていただいております。

あと町会のほうでは現在は会計をさせていただいてるんですけれども、町会運営も防災に力を入れたい。防災をメインにということで考えています。先ほどから自助・近助・共助・公助というお話がありましたけれども、この近助の力をどう上げていくかということで今検討しています。先ほどお話もありました防災士の資格というか防災士の資格を取りたいとは思ってるんですけど、地域の中でそれこそ何名か防災士の資格を取っていけるような町会として応援できるような仕組みも取り入れていきたいなど今検討を始めているところです。なかなかいろいろ難しいことがたくさんありますけれども、何か今イベントとかで地域が集まることがもう大変難しくなっていて、若い世代の人は昼間もいらっやいませんし、でもそうですね。災害はみんなが仕事から帰ってきた夜とは限らないので、お昼間のそれこそ小さいお子さんを連れていらっしゃる方に対する訓練とかもしていける方向にできたらなと考えております。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございました。

それでは中川委員。

○中川委員

海の町で、防災部長と副会長をやっております中川と申します。

今までももう何年間、コロナで活動はほとんどしておりません。毎月やってることは連合町会集まって第二土曜日。海の町地区をぶらぶらと話をしながら子供はおるか。昔は9時頃に回ったんですけど、あんまり遅いんで8時頃にしたんですけど、余計人がおらなくなったという感じで。私も今福祉委員のほうやってまして、毎月25日にまた別の青少年指導員と福祉の両方で夜回りします。

今回21日、緑さんと一緒に合同で防災訓練を久しぶりにやりました。警察の方とか消防とかみんなに来ていただいて、地域と生徒というか顔合わせ。うちの南港の南中学校のほうはジュニア防災リーダーというのを何か決めるんですね。その中学生が小学校、幼稚園の子を避難させるとかいうあれで進んでいると思います、それは前からあったんですけどそういうふうなのです。私もさっき言うた防災士の資格を取ったんですけど、あまり役に立ってない。

ほんで何年か前に防災のほうで考えてますので、ちょっと和歌山のほうで公表とかしたんです。今回も年明けにちょっと講師を淡路島のほうを經由で行きたいなと思っています。まだちょっと分かりませんが、一応計画は頭の中で練っているんですけど。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございます。

濱島委員、お願いします。

○濱島委員

私は花の町の防災リーダーをやってまして、今度11月26日に避難所の開設訓練を行いますので。でも今までみたいにギャラリーが来てくれないかなと思って、人がいないから。もっと本当に炊き出しを今やろうかというあたり相談しているところです。老人ばかりで花の町の若い人が来てくれない。何年か前までは、府警の官舎がありまして府警の方がもういっぱい来てくれて助かったんですけどね。

それともう1つは、私はマンションの維持管理、あれやってまして、しばらく出前講座をしてもらいたいなと思ってるんですけどね。マンションの垂直避難とかいうので、何人ぐらい集まれば来てもらえるのか。そういうのはあるんですかね。

○岩永防災安全担当課長

10人。

○濱島委員

最低10人。

○岩永防災安全担当課長

10人以上です。

○森係長

応相談で。

○濱島委員

行ったら、役所の方ばかり多かったです。

そんなことをやっております。よろしくお願いします。

○岡田部会長

続きまして、本城委員、よろしくお願いします。

○本城委員

こんばんは本城です。安立連合から参りました本城毅士と申します。

安立は非常に大和川に近いところでして、非常に防災の意識が高く私どもの地域

としましては26号線から南海本線の間、南北のところの安立連合のところが一番大和川に近いところでして。5年前に起きた災害のときも非常に。安立小学校に避難させるというか、大体5時ぐらいから、水防団をやっておりましたので4所帯ぐらい安立小学校に連れ出して、車いすの方とか歩けない方を避難させて朝方に帰ったという思い出があるんですけども。

今回の夏に災害があったときに避難訓練をするのにちょうど安立小学校で防災訓練がありまして。そのときに私自身も建築関係の仕事なんですけど機械が非常に弱いんですね。たまたま私の息子がエンジニアというか、ゲーム関係のY o u T u b eとかそういったものの編集に慣れているので防災訓練に初めて一緒に参加しましてね。編集していただいて、これを小学校の内容ですので非常に位置情報、場所が特定できたら駄目ということでSDカードに入れてうちの役員の方に1時間半ぐらいのものを9分ぐらいに編集しまして、ポイントだけ作ってもらって、役員と班長さんだけに集会場でテレビを持ち込んでこれを見ていただいて感想を述べていただいて、1年に1回これを見たらまた忘れるから、4か月か半年に1回これを見ましょうよということで、そういう地域の部分では防災訓練を常にやっというということで取り組んでおります。

また連合のほうで発電機購入ということで防災訓練の方、防災リーダーの方と合わせて、これはメーカーに来ていただいて、使い方・説明書・メンテナンスというのをY o u T u b eでまとめて編集しまして、それを防災リーダーの方、連合の方に常に見ていただくようなことと合わせて、地藏盆もそれに絡めて編集して、作らせていただいて。町会の仕事というのは皆さんもごみの掃除あったり草刈りとか、それというのが非常にあるんですけどもそれをまた町会の活動として、若い人にも見ていただくために草刈りの編集をやったり、とにかく発信力のあるような形のものを作っていくというのを今やらせていただいています。

町会には17年役員でやらせていただいて、町会長は8年目なんですけども非常

にこの地域、新築が多くなってきまして190世帯ぐらいあるんですけどね。30%、40%は若い世帯で、子供は61名、未就学が増えてきてるのでこのメンバー、安立連合を含めて防災訓練、いろんな行事の中でちょっとゲーム感覚ぽく、安立商店街で今回そういうのも催し、イベントがあるということなのでこれも参加させていただいて編集して、みんなに発信していこうと。若い方がチラシじゃなくてYouTubeであったり、SNSだったりいろんな形で見れるような部分が増えてくれば、垣根なくいけるんじゃないかなという部分と。あと若い世帯が4年間コロナで動けてないので日帰り旅行を今回入れてみたりとか。小さ過ぎるとちょっと難しいので、子供祭りをしてほしいとか、そういった意見も来年に向けてちょっと企画したりとか。とにかくもう大和川の土手ですので、年寄りが土のうを積んでというわけにはいけないのでやっぱり若い方が、若い女性の方も少し手伝っていただけるというのも。

それとあと貯水槽が南公園の中に1か所ありますので、消防の方のポンプであったり、一応備蓄のところがあるのでその辺も一度防災訓練みたいな若いメンバーだけで。我々以上になるとホース20キロいうのは持てないので、その辺の部分もまた来年やっていきたいなというふうに思ってます。

あと1つが、役員はもうオフィシャルLINEで何かことが起きたら全部予約発信してやっております。これは役員の方が私も70過ぎてるのにそんな緊急連絡網なんてそんな紙もないし、家族に引き取られたら伝わってけえへんよと言われたんで。それだったら連絡網を作りましょうと。オフィシャルでポンと送れば全員に一遍に送って、あと個別で全部返ってくるように、安否も合わせて。そこから後は班長さんに、来年は一応班長さんにLINEで全部つなぐような形で、回覧も一応そういう形にしている。それを今、取り組んでいる最中です。どこまで行けるか分からないですけど、以上でございます。ありがとうございます。

○岡田部会長

ありがとうございました。

松岡委員、お願いいたします。

○松岡委員

加賀屋東の松岡です。

今回は、区政会議に参加させてもらったんですけど、備える部会にまさか自分が入ると思わなかった。僕は多分、育むかどちらか優しいほうに行くんちゃうかなど。たまたま備えるという部会に参加させてもらったんです。

自分のことで言うたら、1回たまたま自分の電話を取ったときに、家にかかってくる電話で相手が物すごい流暢な話し方で、住之江役所の2階の何番窓口の何ていうのかな。構成何とか部会、何かそういうふうな言い方で、今からお金の給付が、還付やね。還付があるのでもう役所はちょっと閉まるので、取りあえず現金の受渡しのできる金融の場所に行ってほしいと。僕みたいなね、役所にしょっちゅう行っている人間は、もうそこでもピンと来たんですけど、ちょっとゆっくり話を聞いたらと思ってね。その何番窓口の誰々やと言うから、僕はそこでしょっちゅう行ってるけど、今から行ってもいいか。そういうふうな対応をして、取りあえず言うことは一応向こうが言うたことは一応聞いたんですけど。結構流暢なしゃべり方で、ほんまみたいな感じのあれでパッパッと来るから、なかなかこういう話し方で来られたらちょっと普通の人やったら焦るんちゃうかなというのを感じました。それは自分の経験は、自分が今現在やってる民生委員とか、そういう会合のときにそういうのは全部皆、話させてもらったんですけど。

それと、今自分が住んでる家のところから隣のベランダに侵入された跡があっただけ、隣の人が「松岡さん、実はうちのベランダに人が入ったみたいな感じの足形がついているんやけど、警察の人に来てもらって調べてもうたら松岡さんとこの植え込みのほうからつたって上がって、雨どいをつたって2階のベランダのほうに入ってきたみたいや」と。そんなら、やっぱりうちもかなり責任を感じるなということになって。結局ね、何を言いたいかと言うたら隣との近所付き合いがね、やっぱりここに書いて

あるような感じで物すごく大事だと。コンタクトをそないしてとってることがね。その近所から聞いた情報をもうその隣、それからまたその隣、みんな共有して、今うちの並びは全部2階にライトみんなついてますわ、夜になると。だから結構ね、家の前は明るい。うちの前の道路が大きなマンションなんです。マンションで壁がバーンとあるから対面はどっちかいうとちょっと暗い感じなんです。だけど街灯があって、そういうちょっとみんな電気をつけてくれるという雰囲気は多少の防犯の効果があるんじゃないかなと。それはみんなお互いに「ここでこういうことがあったんよ」ということをみんな共有して分かっているから、そういうことができるんやと。だから近助というのはやっぱりそういう力があると思いますね。

ちょっとですけど、備える。自分はこういう会合に参加することを備えてなかったのだから何を言うか分からんと、こういうことです。

○岡田部会長

ありがとうございます。

最後になりましたが私のほうも少しだけ自己紹介をさせていただきたい。先ほど言いましたように南港緑でございます、防災の水害とかに関すれば先ほどおっしゃった安立さんとかとは全然違うんですね。というのは、地盤が非常に高い。ということは、水害に対することはもちろん川がないわけですから氾濫ということもない。津波に対しても基本的には浸水ゼロなんです、今マンションの地盤が。そういうところでいきますと高潮、もちろん地震は当然ありますけど地震と高潮を非常に気をつけるような防災対策でいけるんじゃないかなというように。昨年の備える部会でもやっぱり地域ごとでやっぱり少し違うなというのが皆さんがそのときに理解をしたところでございます。

それと私も町会の仕事も少しやってるんですけども、440世帯のマンションなんですけど、そこで自主防災の組織を作って活動は今しているところでございます。先ほど少しおっしゃったような発電機はもちろん買い、テント式の簡易トイレとかも

備えているわけなんですけども、なかなか難しいのはまずは自助ですよ。ご家庭に1週間分を備えてください。それ以後については少し自主防災のほうから組織から、いろいろなことをしますよと、というようなことを言っているとどこでございますけどなかなか備えのほうも難しくて。新聞を発行したりとかしてるんですけど、なかなか皆さん理解してもらえなくて。水については、割と皆さん備えていただいているんですけど、簡易トイレについては、なかなかまだ認識がちょっと薄いので今後ちょっと防災として、特にマンションなんですね。マンションというのは最近ちょっといろいろな災害時のトイレの使用マニュアルを作ったほうがいいですよとかいう話もあるぐらいで。地震が来てひょっとしたらトイレも使えなくなることがあるわけですね。そうすると、そのような簡易トイレ、携帯トイレなんかは備えていただかないかんというようなことをもう少しちょっと厳しくですね、困りますよというところをアピールをしようかなとは思っているところでございます。

ただ、問題はやはり体のご不自由な方とか高齢の方は増えてまいりましたので、1階の方は津波では問題ないんですけど高潮では3メートル、一応浸水するというハザードマップになってますので。となると1階の方は上に逃げる、垂直に逃げないかんですね。その場合、どうして車いすを運ぶべきかと。今防災訓練をやってて、車いすで上げたり、担架で上げたりしてるんですけどなかなか大変だと。

それと先ほどからもおっしゃるだんだんと高齢化をしてるものですから、力がね、その若い人の力が望めない。平日昼間では、もちろんほとんど望めない状態なのでそこをいかにして今後もそういう高潮、高潮の場合、時間があるので年寄りの力をぎょうさんかけてでも上に運ぶというんですけど、マンションの形式もあって3階以上まで運び上げないかんというような状況になってるので。少しそれは今後検討課題だなと思っているところです。ですから皆さん、どこかでマンションでそういう車いすの方を上に避難さす。それから上から下ろすとかいうのも、いいアイデアがあれば教えていただきたいと思っております。

それと先ほどから出てます、うちのところも一緒なんですけど高齢化が非常に進んでる。もちろんどこともそうだと思うんですけど、それと先ほどから自助、近助といます、近助というのが、だんだんと薄れてきている。ですから、この近助もちろん町会の加入率とかいう話もいっぱい出てますけど、その辺をもう少し何かいいアピールでね、町会に入っただき、かつ近助としての顔を。先ほどおっしゃったように付き合いがあれば割と防げることもあるのではないだろうか僕たちは思うんですけど、若い人へのアピールがないのでちょっとその辺を今後この2年間で勉強してですね、うちのマンションの防災に生かしたいなと。

それと、なかなか南港ではペットを飼ったら駄目ということになってるんですけどうちのマンションでは1台限りであればマンションで飼ってもいいよということになってまして、飼育者自治会というのもつくってるんです。たまたま今回防災でペットに、今日もございましたけど今後はそういうようなペットと防災というようにこの議論もだんだんと始まってくると、今まであまり議論してなかったんですけど、今後はペットと共に避難所へ行くべきかどうかとかね。いうようなことも前回の備える部会では少し議論をして、今回初めてこういう住之江の防災セミナーで「ペットと防災」というセミナーをちょっと開いていただくということなんで、私たちはペット自治会の会計でございますので、聞いてこないかなというふうに思ってるんですけど、そのテーマも一つあるよということも今回勉強してですね、何かマンションで生かしたらいいなと思ってるところでございます。

長々と話しました。ありがとうございます。

それではですね。もう時間が参りましたけども、少しだけ今日の8時までの間にですね、今日区役所のほうからご説明がございましたテーマですね。推進状況とか今後の方向性についてですね、ご意見がございましたら言っていただければなと思いますので、よろしくをお願いします。

○五十崎委員

はい、すみません。方向性としたら私も参加させていただいて、中学生の育成とかそういうのはすばらしいことだと思います。先ほども申し上げたように、自分ごととして捉えるためには、さっき本城さんがおっしゃっていた、目で、視覚で見るとか。それとか例えば、災害の図上訓練でワークショップでそういうことを講演会だけでなしに、そういったこともちょっと多くして、ちょっとその辺で我がこと意識を芽生えさせていってもらえたらいいかなと思ってます。あとは大学と連携して、ARとかVRとかそういう感じで、またそれも視覚にちょっと訴えるような感じでしていったらいいかなと思います。

それとあと心理学の問題でよくあのコミットメントするということで禁煙外来なんかでは何か自分は禁煙しますという宣言をしたり、何か署名を書かしたりしてやってるらしいんですね。それが割となんか効果あるみたいで、何かその辺が防災の関連のアンケートのときに気づくとは言えないと思うんですけども、何かそういう自分自身にコミットしてもらおうような感じでやってもらおうというのもちょっと一つの仕組みかなと思っております。

一応そういうところです。

○岡田部会長

ありがとうございました。

どなたかほかに。もう少しだけ時間がございますので。

○本城委員

すみません。先ほどお話があった防災のジュニア、小学校・中学校の講習というのはどこかやられているところは。

○岡田部会長

さっき中川委員のほうで。

○中川委員

特に講習とかやってない。ちょっとこの間、いつも防災訓練するときに中学生を

中心に。一番動けるのは中学生なので学校のほうでそういうふうにやっていただいと
るというだけです。今回も中学生が小学生の1年出てきます。最後に家まで連れて帰
る、そういうふうな形でやると思います。

ちょっとマンションなんでね、私が住んでいるのは。

○岡田部会長

そうですね。

○中川委員

だからほかのところはちょっと比較しにくいところがあると思うんですが
ね、垂直避難で。その辺も課題はあると思うんですけど、これ、うちのマンション。
細いマンションに住んでますが、そこの中で防災のあれはやってますが、ただ形
だけで。ほとんど何もしてない状態です。だから本来なら管理組合に行ってそういう
形でせないかんのですけどできてないですね。これからは必要になってきますけど高
齢化が問題。一番それが日中はもう本当に中学生・小学生が一番かなと。まあ、そう
いう形で進めていってます。

以上です。

○本城委員

すみません。消防のほうで。小学校・中学校とか、安立小学校で餅つきをやった
りとか、小学校のみこしであったりとか、住吉のみこしだったりとか。うちの安立で
はやっているんですけども、そういったメンバーもしくはジュニア防災リーダー育成
みたいな講座というのは消防としてはしていただけのんでしょうか。

○谷内消防指令

ご希望であれば、もちろんやらさせていただきます。というか我々も中学生とか小
学校の高学年の方、そういうところに積極的に参加していただきたいというふうに
常々思ってますので。森さんとも前、ジュニア地域防災リーダーみたいなのを住之江
区で広めていけたらいいですよという話はしてたんです。

○本城委員

ちょっと安立はうちのほうで2か所、防災の貯水槽、南公園と私の地域、地元なんですけど、3代、4代ぐらい前の町会長の十七、八年前にそこで消防訓練を1回やったというのは聞いてるんですけど。地域の方、小学生、中学生、これを合わせると未就学も入れたら100名ぐらい集まるぐらいの世帯の、中学生までいけばですね。ここ何年か伸びているので、そういうので訓練したいなと今一瞬、それを撮影させていただけたらなというふうに思ったんですけど。

○谷内消防指令

ぜひ、よろしくをお願いします。

○本城委員

またちょっと企画させていただいて。

○谷内消防指令

そうですね、はい。

○本城委員

最低、集まれへんかも。

○谷内消防指令

その辺は大丈夫です。行かせていただきます。

○本城委員

ありがとうございます。

○清水委員

はい、すみません。時間がないので申し訳ないんですけど、うち敷津浦連合も私の今の地元の町会に御崎南公園があるんですけど、御崎南公園で私の子供の頃は、消防署の人が来て訓練をしてはったんですよ、ホースで水まきして。はい、消火訓練ですか。それを何人かでホースを用いながらやったりとかしてたので、子供のときにそれを見てすごい衝撃的というか、こんなふうにしはるんやなというのであって、今

の自分の子供たちは全くそういうのを見たことがなくて。阿倍野防災センターに連れて行って体験させるみたいな感じなんですけど、今の地域の子供たちは子供会もちょっと止まっているので、阿倍野防災センターまで連れて行きたいんですけど行けないんですよね。区民まつりとかで消防も来てますし、そういうのとかも触れさせたいと思うんですけどなかなかね、集客ができないというか。地元で防災の運動会みたいなやりたいなって今ずっと計画してて、その一環で消防署の方も来ていただいて50名ぐらい集まったら来ていただけるのやったら、またお声かけさせていただきたいと思うんです。

○谷内消防指令

はい、ぜひ。

○清水委員

はい、ありがとうございます。

何かうちは、住吉商業が避難場所になっているんです。住吉商業で訓練をしたときにたまたまクラブ活動で来てた高校生がいて。その子たちも一緒に巻き込んで訓練をやったことがあったんですけど、やっぱりすごく訓練らしい訓練ができましたので。しっかり小学校・中学校の出前の訓練とかもますます力を入れて頑張らせていただきたいなと思っています。

以上です。

○岡田部会長

ありがとうございました。

それでは時間となりましたので、本日はこれにて終了したいと思います。

本日の会議内容につきましては、区政会議の全体会議、もうメールか何か行っているのではないかと思うんですけど、11月17日に予定されてまして。その場において他の部会との情報共有をやるということになってございます。これを事務局のほうから整理をしていただいて、今日の議論内容を整理していただいて全体会で報告で

きるような資料に取りまとめをお願いしたいと思います。

本日は、予定していました議題は以上でございますので、部会を終了いたしたい
と思います。議事進行にご協力ありがとうございました。

最後に事務局から何かありましたらお願いいたします。

○岩永防災安全担当課長

岡田部会長、ありがとうございました。本当に貴重な、そして実際に則したご意
見をたくさんいただきまして、ありがとうございます。

いろいろな防災訓練をしている姿を見ていただくことも啓発になるのかなど、ご
意見をいただきながら思いました。ありがとうございます。

いただいたご意見はしっかりと受け止めまして、今後の区政にも反映していける
ように取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、今部会長より指示がございましたように全体会で報
告する資料につきましては、事務局と部会長のほうにご一任いただいてもよろしいで
しょうか。

ありがとうございます。最後にちょっと私、参考資料の説明を全くしておりませ
んでして。クリップどめをした資料のほうご覧いただいてもいいでしょうか。

一番上に乗せてます少し小さいサイズの「避難カード」なんですけれども、携帯
版ということで前回までの区政会議の備える部会の皆さんにご意見をたくさんいただ
きまして作ったものになります。事前に避難先を考えておくというところから備える
意識を持ってもらうための啓発に使っていこうと思っているところです。こういう物
を前回の備える部会でご意見をいただいて作っております。

それから先ほど、部会長のほうからご紹介いただきました10月9日なんですけ
れども、住之江区の防災セミナーを予定しております。3人講師を招きしまして、そ
れぞれ住之江区の災害想定と備えだったり、お一人は宮城県仙台市のほうから実際に
災害を経験された方に経験談に基づく備えについてのお話を。ペットサポート協会さ

んは、先ほどご説明しました防災パートナーということで備えのためにいろんなところと連携していくことを考えているんですけれども。昨年、連携することができました。ペットサポート協会の力を得て、理事長のほうからペットに関する防災についてお話しいただくことを予定しています。なかなか盛りだくさんな内容とっておりますので、ぜひ参加いただけたらと思います。よろしくお願ひします。

その次の資料ですが、「大阪市防災アプリ」といひまして、災害時に正しい情報を得るといひのが非常に大切なことになりまひす。そこで、こちらのほう大阪市が今推奨しているアプリになりまひすので、ぜひとも平時のときにダウンロードしておいていただひて、中身、使い方などを見ておいていただひて災害時にもご利用いただければと思ひておひります。QRコードがついておひります。ダウンロードしてご利用いただければと思ひておひります。

次に「さざんか」住之江区の広報紙なんですけれども、6月の出水期前と9月の防災の日には特集を毎年載せさせておひらけておひります。今年もこういう形で広報しておひりますので、既にご覧いただひたかもしれないですけど、この機にご覧いただければと思ひてお配りさせておひらけておひります。すみません、最後に。

それでは住之江区区政会備える部会のほうを閉会してまいりたいと思ひます。11月17日、19時から全体会を予定しておひりますので、よろしくお願ひいたひします。本日はありがとうござひました。

以下余白